

「大分県特定技能外国人雇用に関する意識調査」による課題の整理と主な対応策

◆課題1. コミュニケーションへの不安

「コミュニケーションがとりづらい」、「外国語への対応に苦慮する」、「日本語教育等の支援」

→日本語教育の支援

- ・地域における日本語教室の体制の継続・充実を図るため、日本語ボランティア等を対象に研修を開催し、ボランティア等のスキル向上を図るとともに、新たな人材確保のためすそ野の拡大を図る。
- ・施設で働く外国人を対象とした集合研修を実施し、介護技術や日本語能力の向上を図る。また、受入施設におけるコミュニケーション支援のための多言語翻訳機の導入費用や、日本語の学習支援に係る教材の購入等の経費に対し助成する。

→やさしい日本語の活用

- ・外国人との円滑なコミュニケーションを図るため、地域住民向け「やさしい日本語」学習会を開催するとともに、「やさしい日本語」リーフレットを作成・配布する。

◆課題2. 制度や手続きが分からない

「受入れるための手続きや準備が分からない」「特定技能についてほとんど知らない」

→情報提供

- ・外国人材の受入れを希望している企業向けに、受入環境整備のノウハウや優良事例を紹介するセミナーを開催して必要な情報を提供するとともに、大分労働局と連携して制度周知・啓発を進める。
- ・技能実習の適正・円滑な実施を促進するため、「大分県技能実習生受入監理団体協議会」を通じ、県内監理団体の質の向上や情報共有を図る。

→相談対応

- ・外国人が生活に関わる様々な事柄について疑問や悩みを抱いた際に、適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、国や市町村をはじめとする関係機関と連携して、情報提供及び相談を行う一元的な窓口である「大分県外国人総合相談センター」を運営する。
- ・外国人介護人材受入施設が抱える疑問や悩みに対応するため、施設を訪問するアドバイザーを配置する。

◆課題3. 研修・教育の負担

「研修や教育などの負担が大きい」「受入れ体制の整備に経費や手間がかかる」「人材育成・業務指導のノウハウがない」

→人材育成・研修の支援

- ・介護施設に受入れる人材を養成するため、ベトナムの送出機関と連携し、現地教育施設に「大分県コース」を開設する。
- ・外国人介護福祉士候補者を受入れた施設に対して、日本語学習や介護技術の習得に関する費用について助成する。

→日本語教育の支援・情報提供

- ・(課題1, 2に記載)

◆課題4. マッチング支援の充実

「職業紹介、マッチング支援の充実」

→マッチング等支援

- ・「おおいた留学生ビジネスセンター」を拠点として、留学生の県内就職・起業についての相談や情報提供などを行うことにより、留学生の県内定着を促進する。
- ・介護施設と外国人材のマッチングを支援するとともに、介護施設に受入れる人材を養成するため、ベトナムの送出機関と連携し、現地教育施設に「大分県コース」を開設する。